

シルクのまちづくり市区町村協議会  
平成29年度第1回幹事会 会議概要

1. 開催日時 平成29年7月10日（月）14時00分～16時30分
2. 開催場所 大日本蚕糸会 蚕糸会館6階 会議室  
（東京都千代田区有楽町1-9-4）
3. 出席者 ○11会員自治体18名  
（鶴岡市1名、結城市1名、足利市2名、小山市1名、十日町市1名、  
富士吉田市1名、岡谷市1名、駒ヶ根市2名、京丹後市2名、  
西予市3名（愛媛県議1名を含む）、富岡市3名）  
○オブザーバー3名  
（経済産業省関東経済産業局2名、農林水産省生産局1名）  
○協賛団体3名  
（大日本蚕糸会3名）  
○事務局サポート1名  
（NPO法人日本染織文化振興会）

#### 4. 会議の経過と結果概要

##### ■開会

##### ■協議事項

1. 平成28年度事業報告について  
資料に基づき、京丹後市（高橋課長）から説明  
⇒ 異議なし
2. 平成29年度事業計画（案）について
  - （1）年間スケジュールについて  
資料に基づき、富岡市（稲塚課長）が進行
    - ・総会（年1回）の開催  
⇒ 平成30年2月（または3月）頃に、富岡市で開催する。次期会長市である鶴岡市と協議し、両首長が出席できる日程で開催することで了承。
    - ・幹事会（年2回）の開催  
⇒ 第1回は、平成29年7月10日、蚕糸会館にて開催。  
第2回は、平成29年12月頃に、蚕糸会館にて開催を予定。研修事業やイベントとあわせての開催となるよう検討することで了承。
    - ・組織拡大  
⇒ 昨年まで参画依頼をしている自治体に、引き続き呼びかけてくことで了承。
  - （2）連携事業について

①絹のみち広域連携プロジェクトとの連携について

関東経済産業局（荒井課長補佐、飯村係長）から説明

⇒ 本日の幹事会を踏まえて事業を検討する。所管エリアである1都10県と連携しながら、シルク関係のものづくりと観光の2つの面から連携事業を実施してきている。関東経済産業局だけでなく、他の経済産業局とも連携しながら、より広域的に進めていきたいと考えている。昨年は、大々的にイベントを行ったので、今年は、ネットワークの地固めを考えている。各自治体の担当者を集めた会議を行うなどして、今後の取組を検討していきたい。シルクのまちづくり市区町村協議会の会合やイベントにあわせて、自治体連絡会議のような会議を合同開催として行うことは、十分考えられると思う。（荒井課長補佐）

⇒ ものづくりの面からは2点あって、1つは銘仙プロジェクトの販路拡大を進めたい。もう1つは、ネクスコ東日本と「絹のみちスタンプラリー」を実施予定で、この中の自治体にも協力いただいている。8月7日から始まるところである。（飯村係長）

②ジャパンシルクセンターの活用の検討について

資料に基づき、大日本蚕糸会（廣瀬業務部長）から説明

⇒ 平成29年10月以降、シルクのまちづくり市区町村協議会の会員自治体は、絹製品の展示・販売に併せて物産販売・展示等のイベントに、ジャパンシルクセンターを利用することが可能。販売に際しては、大日本蚕糸会と委託販売契約の締結が必要（手数料35%）。利用を希望する自治体は、個々に問い合わせする。

（問い合わせ先：大日本蚕糸会 電話 03-3214-3500 廣瀬業務部長）

③「ウマイルスクエア（大井競馬場内）」における絹イベントへの参加について

富岡市（稲塚課長）から説明

⇒ 協議会としては、ジャパンシルクセンターの利活用を検討することを優先する。

今後、協議会として参加を要請される場合には、改めて、事務局から連絡をさせていただきますことです承。

3. その他

(1) 和装の持続的発展のための商慣行のあり方について

資料に基づき、京丹後市（高橋課長）から説明

(2) 新ホームページの移行タイミングについて

会長市の持ち回りを機に、新ホームページ（<http://silktown.jimdo.com>）を京丹後市で作成し、既に稼働している状態である。従来のホームページを開こうとすると、新しいホームページに移行する設定になっている。

■各産地の状況報告や取組紹介など（自己紹介を兼ねて）

シルクのまちづくり市区町村協議会の新ホームページ内に掲載しました「平成29年度第1回幹事会各団体からの資料」をご確認ください。

■閉会

【平成29年度 第1回幹事会の様子（大日本蚕糸会 蚕糸会館6階 会議室）】

